

主な内容

- 黄綬褒章受章
- 会員企業紹介「高丸工業(株)」
- 会員企業動向
- 事業報告
- 連載企画「販売につなげるためのエッセンス」【第2回】



表紙企業のご紹介

一般機械器具製造業

高丸工業 株式会社

【代表者】代表取締役 高丸 正 氏
【所在地】〒662-0925
西宮市朝風町1-50
【TEL】0798-38-9200 【FAX】0798-38-1919
【資本金】7,500万円 【従業員】22名
【創業】昭和42年
【事業内容】

産業用ロボットシステムの製造、自動装置の製造
「産業用ロボットの教示等及び検査等の業務に係る特別
教育修了証」発行機関
産業用ロボット教育、生産技術業務



代表取締役
高丸 正 氏

今回の紹介企業は、現在西宮市に工場を移し中小企業への産業用ロボットの導入に注力されている、高丸工業株式会社です。

高丸工業株式会社は、昭和42年尼崎市稲葉荘に設計事務所として開設され、昭和46年には尾浜町に自動機械の製造工場を開設。昭和60年に現在の代表取締役高丸正氏が就任し、以来ロボット関連事業を本格的に稼働させた。平成6年には今後成長が見込まれる産業・企業に送られる「兵庫県新産業創造プログラム」の認定を受け、平成11年に長洲工場を開設し本格的にロボットシステムの元請け受注を開始した。翌年にはロボットメンテナンス事業も開始され、独立行政法人科学技術振興事業団による、中小企業が持っている新技術の実用と、新産業の創出に尽力している企業へ認定を行う「独創的研究成果育成事業」の認定を受け、大学や研究所と共同で“産業用ロボットクライアント・サーバーシステム”の開発もされている。

さらに平成19年には経済産業省の「異分野連携新事業分野開拓計画」の認定を受け、“尼崎ロボットテクニカルセンター”を完成させ、ロボットの導入計画から、設計、製造、設置、稼働、メンテナンス、オペレーターの教育まで、一貫したロボットシステムの導入を推進している。近年は、構造物の大型化と生産ラインの一括受注などに伴い生産体制の拡充強化とを図るため、本社工場を5000平方メートルの西宮工場に集約した。

また、同社は中小企業への産業用ロボットの普及が進まない一因はロボットオペレーターの人材不足にあると考えており、同時に中小企業のためのオペレーターの教育に関しては、就業前の高校や大学生らへの教育が有効であると考え、就業体験の受入れやセミナーなどを積極的に実施し、ロボットの魅力を伝えている。特に尼崎市内の高校生対象には「ロボットって何？セミナー&見学会・発表会」を毎年開催し、産業用ロボットの未来を予想した上で、新しいロボットアプリケーションのアイデアについてのプレゼンテーションコンテストを実施している。これらの活動により、ロボットの面白さを伝え興味を持ってもらい、今後の中小企業のロボット化や関連産業の成長につなげる試みを続けている。

こういった取組みは多くのマスコミや新聞でも取り上げられ、今産業用ロボットの業界でも注目されている企業の一つである。

先日、その高丸工業株式会社の取組みの一つである「ロボットって何？セミナー&見学会・発表会」について、開催されましたので紹介します。

ロボットって何？セミナー【見学会】【発表会】

この度、尼崎市内の高校生を対象に“産業用ロボット”や“ものづくり企業”に関心を持ってもらい、今後の人材育成に繋げることを目的に尼崎経営者協会が主催にて「ロボットって何？セミナー&見学会」を平成7月25日（木）、「発表会」を8月29日（木）に開催した。

【ロボット見学】



◀写真などでは見た事はあっても、初めて目にするロボットに興味津々な高校生の皆さん。オペレーターの方の説明に、熱心に聞き入っていた。

【産業用ロボットについての講義】



◀ロボット見学のあとは、高丸工業株式会社代表取締役高丸正氏による「産業用ロボットの歴史・構造・制御や現在の実用用途、ロボットオペレーターの必要性や優位性」について講義を行った。

【高校生によるプレゼンテーション】



◀前回の見学会にて参加者全員に“今後の産業用ロボットの進歩”また“新たなアイデア”についてレポートを提出頂き、その中から選定した5名の生徒によるプレゼンテーションを行った。

【優秀作品表彰を受けた高校生達】



◀優秀作品表彰を受賞された高校生の方たち。今後の尼崎を含む製造業・ロボット産業の発展に大いに活躍出来るよう応援しています。頑張ってください。